

より良く長く委員会 メタボ回避100日チャレンジ!!あるこーレ、自分のからだしろーレ

協議

● ファイル名	: yoriyoku-jigyo		
● 事業名	: メタボ回避100日チャレンジ!!あるこーレ、自分のからだしろーレ		
● 担当副理事長	: 野上将司	● : 会議・委員会名	: より良く長く委員会
● 担当常任理事	: 五十嵐佑一	● : 議長・委員長名	: 荒木法子
● 常任理事確認日	: 2020年3月13日	● : 文書作成者役職・氏名	: 峠和広

事業要綱

1. 実施に至る背景	高齢者の割合は毎年上昇しており、このことが社会保障費の負担増大に繋がっています。相対的に健康意識が低いといわれる我々、青年期・壮年期世代が健康に対し意識を高め、健康づくりを習慣化する必要があります。 より良く長く委員会年間ロードマップ	
2. 対外目的	青年期、壮年期世代の健康意識を高め、健康づくりの習慣化を促すことを目的とします。	
3. 対内目的	青年期、壮年期世代の健康意識を高め、健康づくりの習慣化を促すことを目的とします。	
4. SDGsのゴールとターゲット番号およびその説明(資料)	番号	合致する部分
	3	あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
5. 理事長所信に関する件(資料)	「Make Hope. 胸に誇りを、未来に希望を」に関する件 人は誰もが年を取り、いつかは高齢者となっていきます。近年、高齢化社会の負の側面を意識されがちですが、いつまでも健康で年を重ねることが出来ることは幸せで誇るべき事なのです。ただ高齢化社会の問題を挙げるとすれば、年齢を理由に個人の成長が止まり、組織の成長が止まり、社会の成長が止まることです。言い換えれば、現状に満足した時、あるいは諦めた時、新たなものは次第に受け入れづらくなり、そのような考え方が多くなったとき、多様性をもった寛容な社会とは反対の方向へ行ってしまうという事です。何歳になっても生涯現役でありつづけるには生きがいをもち挑戦することが不可欠です。高齢者がいつまでもハツラツと生涯現役で過ごせるまちであれば、健康寿命は伸び、社会保障費は抑えられ地域に新たな経済循環を生み、自由と多様性の溢れる活力あるまち長岡が生まれます。長岡青年会議所では、性別や年齢や置かれた条件を問わず、誰もが挑戦し生涯現役であり続ける社会を実現します。	
6. 対象者および参加員数計画	(対外)	
	青年期、壮年期の長岡市民	200人
	合計	200人
	(対内)	
	長岡JCメンバー	129人
	事務局員	1人
		130人
	(3月11日現在)	
7. 公益性の有無(資料)	有 5. 地域住民、地域行政に対し、問題点を調査研究、提議し、諸問題を考え、解決していくことにより、更なる地域発展に寄与する事業	

事業概要

1. 実施日	(1) 実施期間 2020年 4月 21日(火)～ 7月 29日(金) (2) イベント実施日 2020年4月20日(4月例会)、5月中旬、6月中旬、7月下旬
2. 実施場所	(1) 4月例会 アオーレ長岡 (2) 5月イベント 越後国営丘陵公園 (3) 6月イベント リバーサイド千秋 (4) 7月イベント 長岡駅周辺及び、信濃川河川敷(仮) ※5、6、7月のイベントは長岡青年会議所主催ではありません。詳細が決まり次第ご案内のメール配信を行わせていただきます。(第2回正副常任理事会議にて検討済)

3. 参加推進方法	(対外)		
	方法	詳細および対象者	添付資料
	チラシ	各所へチラシを配布します。	① チラシ表 チラシ裏 ② チラシ配布先
	WEB	長岡JCホームページに掲載し、HP上からの参加申し込みを可能とします。	
	SNS	FacebookやTwitterで参加意義を伝え、申し込みフォームより申し込みを行っていただきます。	申し込みフォーム
	プレスリリース	報道各社にプレスリリースを行います。	① プレスリリース ② プレスリリース配布先
	市政だより	健康課とタイアップすることで、市政だよりにて大々的に告知します。	市政だより掲載
	LINE@	LINEグループを作り恒常的に健康へ向けて意識を高めます。	LINE@の説明
	(対内)		
	方法	詳細および対象者	添付資料
	メーリングリスト	メーリングリストにてメンバーに配信します。	事業メンバー向け案内文
	委員会PR	メンバーの参加はあくまでも任意ですが、個々が健康になることはもちろん、総体的に健康になることで、結果将来の社会保障費の削減（個人負担）を減らしたいと考えています。多くのメンバーに参加していただくために各委員会開催時にて、予備知識や意義をしっかりと伝える内容のPRをします。	
	電話	欠席者や、メール未返信者へ電話をして、例会の意義を伝え参加を促します。	
PR戦略 (パートナーやメディアにどうやって理解していただき、より広く発信してもらうか)	4月例会の翌日を社会実験（事業）のスタート日に設定することで、4月例会と参加促進と合わせて行い、相乗効果を狙います。パートナーシップを築いた企業様の関係者もしっかりと巻き込む工夫を行います。		
4. 予算総額	¥300,000円ー	収支予算書へ	
5. 外部協力者・協力種別	【共催】 長岡市 共催申請書 福祉保健部 福祉総務課 福祉保健部 健康課 【後援】 (一社) 地域活性化・健康事業コンソーシアム TANITA CAFE		
6. 引用著作物の有無	無		
7. 対外配布資料の有無	有		
	配布物	配布先	
	チラシ	長岡一般市民	
	プレスリリース	報道関係者	
	アンケート	来場者	
8. 実施組織	①組織表		
	統括責任者	荒木法子委員長	
	統括責任者補佐	森山和良副委員長	
	チーフ	峠和広	
	案内文作成配信	白井忍運営幹事	

4月例会チーフ	丸山利彦
納涼例会チーフ	風間友貴
65周年事業チーフ	新井大輔
広報	小林良博、丸山利彦、桑原洋平
会場手配	角田太朗会計幹事
備品管理・手配	角田太朗会計幹事
関係団体打ち合わせ	荒木法子委員長・峠和広
PR担当	難波裕二、奈良場健太
②役割分担表	
活動量計の登録	タニタカフェ 江口龍司
データの収集	タニタカフェ 小林一貴
長岡JC WEBページ掲載	白井忍運営幹事、峠和広
100日毎日コラム作成	荒木法子委員長（監修：管理栄養士ますがたみき トレーナー渡部泰介 ヨガインストラクターさとうしおみ）
会場手配及び確認	白井忍運営幹事
LINE@グループ作成	難波裕二
対内電話連絡	委員会メンバー

事業内容（目的達成のための手法説明）

1、事業全体スケジュール

- 1月 中旬 事業計画立ち上げ
外部協力者の選定・打ち合わせ
各協賛企業の選定・打ち合わせ
各月イベント協力企業・打ち合わせ
- 1月31日 市政だより入稿
- 2月 中旬 外部協力者決定
各協賛企業の決定
各月イベント協力企業の決定
- 2月25日 市政だより（3月号）発行
- 3月19日 PR活動開始、参加者を募る
- 4月20日 4月例会、活動量計お渡し（[活動量計を渡すプロセス](#)）
- 4月21日 社会実験のスタート
- 5月 中旬 5月ウォーキングイベント開催 長岡市健康課及びタニタカフェとタイアップ予定
- 6月21日 6月健康チェックイベント開催 「家族で守ろうパパの健康」実行委員会とタイアップ予定
- 7月 中旬 7月ウォーキングイベント開催 ヨネックス株式会社とタイアップ予定
- 8月 6日 納涼例会にて社会実験の結果報告、表彰式

2、事業を通じて利用するもの

①ながおかタニタ健康クラブの活動量計

参考資料：[活動量計を利用する理由](#)

②体組成計 参考資料：[体組成計でわかること](#)

※活動量計に登録（登録料3,000円）でながおかタニタ健康クラブのサービスが使える、健康ポイントがもらえ、測定結果のグラフで変化が分かります。

[健康ポイントシステム](#)（1ポイントおよそ1円）

活動量計と体組成計グラフのHPでの表示

※活動量計とながおかタニタ健康クラブのサービスは100日チャレンジ終了後も

継続して使うことができますが、ながおかタニタ健康クラブのサービスは1年で更新が必要になります。

その後も継続したい場合、更新料2500円が必要です。（貯めたポイントでも更新できます）

③LINE@

（1）対参加者

- ①初めにモチベーションアップの施策として個人目標を選んでいただきます。

- ・目標A より良く！今よりマッチョ（基礎代謝10%アップ、筋肉量5%アップ）
- ・目標B 減らせ！体重5キロ（体重5キロ減、内臓脂肪レベルを標準に※BMI20未満は選べない）
- ・目標C 目指せ！生活改善（歩数毎日8000歩）

→それぞれの評価方法（ ）内は要相談

②1日8000歩を目安に歩いていただくことの習慣化を目指します。

*1日8000歩を歩き3か月間実施したことで健康になる理由

- ①[久野譜也教授の論文](#)
- ②[東京都健康長寿医療センター研究所 老化制御研究チーム副部長・運動科学研究室長 青柳幸利の見解](#)

委員会にて歩数データをチェックします。歩数データは[リーダーライター設置箇所](#)または市内のローソンのロッピーでデータの吸い上げが出来ます。

（データは最終更新日から一か月で消去されます）

③月1回、体組成計にのっていただきます（長岡市内14か所 [ウェルネス・スポット](#)）

④5月、6月、7月のイベントに参加していただきます。

⑤LINE@を利用して毎日健康コラムを発信します。

（2）本事業を通じて行うこと

◆活動量計の評価方法

①1日8000歩歩いたで賞

一日8000歩歩いた方に0.5ポイント付与します。

②1番歩く習慣になったで賞

実施期間中に1日8000歩以上を歩いた日数で評価します。

歩いた日数の多い人から健康ポイント

1位 2500 2位 2000 3位 1500

のポイントを付与します。

③自分のからだ一番知ったで賞

3か月間の実施期間で体組成計に乗ることで評価します。

体組成計に乗った回数が多い人から

1位 2500 2位 2000 3位 1500

のポイントを付与します。

④健康のことを一番知ったで賞

長岡市が主催する[健康講座](#)に一番参加した人から

1位 2500 2位 2000 3位 1500

のポイントを付与します

⑤ゾロ目賞

健康ランキングの総合順位がゾロ目になった人に、健康ポイント500付与します。

同率の場合はそのパーセントを同率の人で割った数字のポイントを付与します。

[健康ポイント配布理由](#)

◆LINE@で登録した人に参加者の全員の総歩数を情報提供します

◆LINE@で登録した人全員に総歩数による社会保障費の削減費用を情報提供します。

[社会保障費の削減費用](#)

- ◆LINE@で登録した人全員に健康ランキングの状況を報告します。
[健康ランキングルールブック](#)

LINE@の必要性

- ① 青年期・壮年期のスマートフォン普及率が高いから
- ② 日常生活でLINEを活用している人が多いから
- ③ 参加者全員に一齐に情報を送信できるから
- ④ 参加者全員に毎日コラムを発信するため
- ⑤ 無料分だと、300人に情報を送信したときに無料で使える範囲だと3日で有料になるため
[LINE@の料金表](#)

(3) 100日コラム

内容：食事・休養・運動について豆知識LINE@にて配信します。

また、イベントの情報や活動量計のデータ更新についての100文字程度で配信します

参考：[講師選定理由](#)、[100日コラム執筆のお願いと記入例](#)

① 食事に関して

依頼者する人：管理栄養士 ますがたみきさん [プロフィール](#) (講師承諾書)

配信内容：栄養とその効果を含む食材をテーマ

② ヨガのインストラクター

依頼する人：佐藤しおみさん [プロフィール](#) (講師承諾書)

配信内容：睡眠・休養に関するテーマ

③ スポーツトレーナー

依頼する人：渡部泰介さん [プロフィール](#) (講師承諾書)

配信内容：日常生活の中でできる筋トレをテーマ

(4) [活動量計を渡すプロセス](#)

(5) 事前アンケートに答えていただき、集計します

[事前アンケート](#)

(6) 事後アンケートに答えていただき、集計します。

(個々の意識の変化を調査するため)

[事後アンケート](#)

4、4月例会当日及び当日までに行うこと

(1) 社会実験の趣旨説明

(2) タニタカフェの活動量計の登録 受益者負担 2,000円

(実質3,000円/1,000円は補助)

[申込用紙](#)

[一般参加者へ1,000円補助する理由](#)

(3) LINE@グループへの登録をしていただきます。

* LINE@登録後

- ① LINE@にて参加者全員の総歩数・将来医療費推計の削減費用・健康ランキングの途中経過の内容を送ります
- ② 健康になるための豆知識を配信します。
- ③ 100日毎日コラムの送信します。

(4) 体組成計にのり自分の体の状態を知る (当日会場に3台設置予定)

- (5) 5月、6月、7月のイベントに参加してもらう告知
 * 5月、6月、7月イベントは詳細が決まり次第、メンバーにはメーリングリストとHPにて告知し、100日チャレンジの参加者にはライン@にて告知させていただきます。
- (6) 登録場所のブースを設置しておき、そこで登録を行う。

5、5月イベント

- (1) 主催：長岡市健康課及びタニタカフェ
 (2) 内容：学びと連携したウォーキングイベントを実施
 (3) 日時：協議中 ※新年度4月に決定
 (4) 場所：タニタカフェ周辺
 (5) 参考：[昨年イベントスケジュール](#)、[昨年チラシ](#)

6、6月イベント

- (1) 主催：「家族で守ろうパパの健康」実行委員会（事務局：長岡市健康課）
 実行委員会：長岡市医師会、長岡地域糖尿病対策推進会議、長岡市スポーツ協会、新潟県栄養士会長岡支部、新潟県臨床検査技師会中越支部
 (2) 内容：健康チェック、血圧測定、体組成測定、簡易血糖測定、血管年齢測定、肺の汚れチェック（一酸化炭素濃度測定）、栄養士による食事相談、医師による健康相談、体力チェック、公開シェイプアップ講座など
 (3) 日時：6月21日（日）11時～15時30分 ※新年度4月に決定
 (4) 場所：リバーサイド千秋1F リバーサイドコート
 (5) 参考：[昨年チラシ](#)

7、7月イベント

- (1) 主催：ヨネックス株式会社（打診済）
 (2) 内容：ウォーキング講座、駅周周辺ゴミ拾いなど社会貢献を軸にしたウォークラリー
 (3) 日時：7月初旬
 (4) 場所：長岡駅周辺
 (5) タイアップ先選定基準：長岡市と健康づくりに関する協定を結んでいる企業
[長岡市とのスポーツによるまちづくりの推進に関する協定、概要](#)

8、100日チャレンジ終了後の報告

参加者の目標達成、データによる習慣化の数値、アンケートの集計、将来医療費削減の概算見込みなどについての検証は健康課・福祉総務課・タニタカフェと行う。

→8月例会、65周年記念事業にて発表。

本年の工夫と期待される効果	
本年度の工夫	期待される効果
行政・企業とパートナーシップを築き、健康促進についての実証実験を行うこと	・若者向けに健康維持への習慣化を促す ・他団体とパートナーシップを築くことで、普段健康意識の低い多くの市民を巻き込める
依頼事項 一人でも多くの一般市民の方に参加していただきたいので、長岡JCメンバーには家族や知人、会社従業員に声かけをお願いします。	

審議対象資料・参考資料

審議対象資料	
1.	収支予算
2.	チラシ表 、 チラシ裏
3.	チラシ配布先
4.	プレスリリース
5.	プレスリリース配布先
6.	共催申請書
7.	渡部泰介氏講師承諾書
8.	佐藤しおみ氏講師承諾書

9. [ますがたみき講師承諾書](#)
10. [100日コラム執筆のお願いと記入例](#)
11. [申し込みフォーム](#)
12. [事前アンケート](#)
13. [事後アンケート](#)
- 14.

参考資料

1. [理事長所信（資料）](#)
2. [委員会事業計画](#)
3. [より良く長く委員会年間ロードマップ](#)
4. [長岡タニタ健康クラブ](#)
5. [長岡市内の体組成計設置場所（ウェルネス・スポット）](#)
6. [備品リスト](#)
7. [健康ポイント配布理由](#)
8. [健康ポイントシステム](#)
9. [LINE@説明](#)
10. [体組成計設置場所](#)
11. [医療費適正化基本方針の改正・医療費適正化計画について」](#)
12. [久野譜也教授の論文](#)
13. [東京都健康長寿医療センター研究所 老化制御研究チーム副部長・運動科学研究室長 青柳幸利の見解](#)
14. [長岡ヘルシープラン](#)
15. [活動量計を渡すプロセス](#)
16. [ウォーキング・睡眠と経済効果](#)
17. [健康ランキングルールブック](#)
18. [講師選定理由](#)
19. [一般参加者へ1,000円補助する理由](#)
20. [体組成計でわかること](#)
21. [長岡市とのスポーツによるまちづくりの推進に関する協定、概要](#)
22. [活動量計を利用する理由](#)
23. [市政だより掲載](#)
25. [活動量計と体組成計グラフのHPでの表示](#)

前回までの流れ（引継事項ならびに意見と対応）

類似事業からの引用事項

● 第3回財政審査会議 ● 開催日 2019年 12月 10日 (火) 審査

意見1：タイトルバーを変更してください。

対応1：修正しました。

意見2：半角は全角にしてください

対応2：修正しました。

意見3：予算書をつけてください。

対応3：現在確認中です。確認がとれしだい添付します。

意見4：イベントは、企業とのタイアップで行う予定であれば実施内容の書き方を工夫してください。

対応4：修正しました。

● 第10回正副常任会議 ● 開催日 2020年 12月 18日 (水) 審査

意見1:背景の部分の文言がおかしいので文節の順番を入れ替えてください。

対応1:3行目以降の文節を最後に異動することで、修正いたします。

意見2:ルールが曖昧なので分かりやすいルールブック等を作ってください。

対応2:ルールを何度も見返せるように皆さんに登録してもらおうライン@に掲載します。また、活動量計(万歩計)や体組成計の使い方はYouTubeにて説明動画を作成します。

意見3:この事業は、参加者に歩いてもらって、毎日コラムを見ることですか。

対応3:目的は、健康づくりの習慣化です。そのために、活動量計を使っていただき、体組成計に載ることで自分の体の変化を知り、毎日配信される健康づくりについてのコラムで豆知識を得ていただきます。

意見4:WEB上で歩いた歩数を他人は見ることはできますか。

対応4:他人は見ることはできません。

意見5:活動量計(万歩計)の集計はどうやって行いますか。

対応5:活動量計の集計はできれば委員会ではやらず、体組成計のデータと合わせて長岡市福祉総務課に行っていただきたいと考えています。特に体組成計のデータは体重や体脂肪率などプライベートな内容が多く委員会で管理すべきではないと考えています。詳細は担当課と現在協議中です。

意見6:歩いた歩数と個人の健康の相関関係が分かるものがあるものと思います。

対応6:分かるようにライン@にて共有します。

意見7:ウィルネス・スポットは市内何カ所にあるのか教えてください。

対応7:市民体育館やコミュニティーセンターなど市内14カ所に設置されています。議案書にウィルネス・スポットが分かるリンクを貼りました。事業がスタートしたら、ライン@にも貼りたいと思います。

意見8:「集計ポイントの結果をランキングで発表する」の部分の詰めが甘いので、追記してください。

対応8:追記させていただきます。

意見9:歩数ランキングや体脂肪ランキング、筋肉増加ランキングなど部門ごとにした方がいいのではないかと。

対応9:部門分けさせていただきます。

意見9:収支予算書・予算にリンクが張っていないので貼ってください。

対応9:まだ未確定の部分も多く恐縮ですが、貼らせていただきます。

意見10:健康意識の低い人の集め方はどうしますか。

対応10:4月例会で講演していただく久野教授のプロジェクトの検証を見ますと、健康意識の低い人を巻き込むためにはインセンティブを発生させることが効果的だということが分かりました。チームを作って歩いていただき、ランキングにし上位の方へポイントを付与するというはその成功事例を参考にしています。

参考資料:[IoTを活用したSWC健幸ポイントプロジェクト](#)

意見11:歩かないメンバーややらないメンバーにはどうしていくのか。

対応11:やらないメンバー、途中でやめてしまう一般参加者は必ずいると思います。なぜやらないのか、なぜ途中でやめたのかアンケートを取り、その内容も検証結果に入れたいと思います。

意見12:健康データを発表されたくない方に対する対応方法はどうしますか。

対応12:例えば発表されたくないデータという体重や体脂肪などが考えられますが、我々が管理をしないこと、具体的な数値ではなく減り幅での評価にすることで我々委員会メンバーがプライベートなデータや個人情報を見られないようにしたいと思います。

● 第4回財政審査会議	● 開催日	2020年	1月	9日	(木)	審査
-------------	-------	-------	----	----	-----	----

意見1:添付資料、健康ランキングルールブックをPDFにしてください。

対応1:修正しました。

意見2:一般参加200人を2000円負担にして20万円で計画を作ってください。

対応2:修正しました。

意見3:スポーツトレーナーの体操の先生とヨガの先生から見積もりと講師承諾書をつけてください。

対応3:見積もりと講師承諾書を添付しました。

意見4:市政だより掲載案、プレスリリース掲載案を添付してください。

対応4:添付しました。

意見5:LINE@の見積もりを付けてください。

対応5:LINE@の公式サイトにある料金プランをPDF化してリンクを張りました。

意見6:タニタカフェの見積もりの数量を議案書通りに修正してください。また、税別か税込かをわかりやすく表示するようにしてください。押印してもらってください。

対応6:人数を300人で再見積もりを依頼しています。また、税抜きか税込みか確認したところ税込みでした。300人×3000円で900000円の見積もり書になります。

意見7:タニタカフェへの振込手数料を550円に修正してください。

対応7:修正いたしました。

意見8:予備費に比率が相当低いので3%確保してください。

対応8:確保し修正しました。

意見9:公式グッズはなんですか。本当に必要ですか。

対応9:100日チャレンジに参加している人が一目で分かるように、シールかハンドストラップを作ろうと考えていました。予算の関係で削除しました。

意見10:収支予算書は収支決算報告書など必要のないものは消してください。

対応10:追加いたしました。

意見11:チラシの予算が入っていません。

対応11:チラシは(4月例会に計上)とし、予算書はなしとしました。

● 第11回正副常任会議	● 開催日	2020年	1月	15日	(水)	協議
--------------	-------	-------	----	-----	-----	----

意見1:活動量計はレンタルですか?

対応1:購入です。3,000円のシステム料を払うとその人のものになります。2年目以降は更新料がかかりますが、これは本人負担となります。

意見2:仕事柄、活動量計を常には身に付けられない人もいるということを念頭に置いておいてください。

対応2:活動量計を仕事に持てない方もいらっしゃいました。ご自身の活動量を知っていただくことも大事ですが、こ

ちらの活動量計は体組成計に載った体の変化も確認できるシステムになっています。歩数は確認できなくても、体の変化はぜひ確認していただきたいと考えています。

意見3：意識の低い人を対象にしたら、途中離脱者が多くなり「なぜ継続できなかったか」の検証にメインテーマがすり替わってしまう危惧があります。

対応3：そうならないよう、LINE@でのコラムなどで意識を継続できるよう心がけます。

意見4：それならば、対象者から「意識の低い人」を外すのがいいのでは？

対応4：青年期・壮年期の人の意識が低いのは相対的なデータなので、「意識の低い人」という文言は削除します。

意見5：4月例会をテレビで取り上げられないか。NCTなどは食いつきそうなネタだと思います。事業の成否は継続にかかっているの、積極的に告知していった方がいいと思います。

対応5：久野教授は歩くことに関する研究の権威なので、ネタとしての価値は高いと考えます。NCTやTeNYにあたってみたいと思います。→当たった結果、広告費が発生し、事業費との兼ね合いで断念。

意見6：ドラクエウォーク、ポケモンGOなどの歩くゲームに協力してもらえないのでしょうか。

対応6：ゲーム会社に問い合わせしてみます。→当たった結果、協力費が発生し、事業費との兼ね合いで断念。

意見7：青年向けイベント、壮年向けイベントと分けてみてもいいかもしれません。若い人にはゲーム性を高めるなど。

対応7：参加者に面白がらせる工夫は必要だと感じていますので5、6、7月のイベントにて意識したいと思います。

意見8：予算書の年間予算と事業繰入金はずれているので修正してください。

対応8：修正します。

意見9：タニタカフェの見積額と予算額が異なっています。90万円の見積もりに対して予算が20万円なのはなぜですか。

対応9：一般参加者は受益者負担2,000円、長岡JCは受益者負担3,000円です。一般への補助1,000円×200名で200,000円としています。

意見10：このままではわかりにくいので、JC負担分200,000円の見積もりを取るなど、わかりやすくしてください。

対応10：そのようにいたします。

意見11：健康ポイント40,000円の見積もりがありませんが。

対応11：はじめはポイント再分配のつもりだったのですが土壇場でそれが不可だとわかり、購入することになりました。福祉総務課としてポイントの売却見積もりをしたことがなく時間がかかっております。

意見12：LINE@はどう計算したら16,500円の費用になるのですか。

対応12：5,500円プランで3か月間分となります。

意見13：このままではわかりづらいので、議案書本文で3か月分の費用が発生する旨を補足してください。

対応13：そのようにいたします。

意見14：LINE@は放っておくと自動更新されると思うので、そうならないよう注意してください。

対応14：注意します。

意見15：4月例会に来た人が活動量計をもらえるのですか。渡すプロセスを整理してください。

対応15：活動量計を渡すには事前に個人情報の登録が必要です。JCはこちらで事前にタニタカフェに伝えておきます。一般は申し込みフォームにその旨を書いておき、事前申し込みしてくれた人はタニタで事前登録してもらいます。例会にはタニタの人にも来てもらうので、当日のドタ参でも60人くらいは対応できます。

意見16：ドタ参の人に対する補助金額は上限を決めておいた方がいいです。

対応16：定員300人とし、それ以上の人への対応は検討したいと思います。

意見17：チラシ裏面の資料が付いていないようです。

対応17：裏面の資料も用意したのですが、リンクを失念したようです。修正いたします。

意見18：一般参加者への2,000円の領収書は用意できていますか。

対応18：可能ということで確認しています。

意見19：2,000円は誰に払うのですか。

対応19：事前申し込みの方はタニタカフェに出向いて払ってもらいます。ドタ参加の方やFAX申し込みの方は4月例会の場で支払ってもらいます。

意見20：ややこしいのでしっかり申込書に記載をするようにしてください。

対応20：修正しました。

意見21：先着200名は1,000円補助、その後は補助なしという風にしては。

対応21：そのようにいたします。

意見22：SNSでの告知をすべきと思います。反響があったら来年も継続すればいいです。

対応22：ターゲット層を考えて、TwitterとFacebookで告知することにします。Instagramはターゲットが合わないため使用しません。

意見23：5、6、7月イベントは、青年会議所としては何をしますのですか。

対応23：運営は各主催者に任せます。5月は動員をします。6月は若い人の意見を求められたので会議に参加し意見を出してきます。7月はヨネックスと協議中です。

意見24：イベントは途中経過を発表できる場なので、有志の途中経過を伝えてみては。

対応24：途中経過を伝えあっていただきたいと思います。

意見25：チラシはいつまでにできますか。理事会に間に合うようにしてください。

対応25：チラシのイメージを添付させていただきました。

意見26：ルールブックにある「個人情報」について、その管理はどこがしますか？

対応26：歩数の管理は我々で、体重などが掲載される体組成計のデータはタニタカフェと福祉総務課にお願いしたいと思っています。

意見27：講師の3人はそれぞれどんなコラムを書きますか。

対応27：さすがたさんは栄養について、渡部さんは運動について、佐藤さんは睡眠について、それぞれ30コラム書いてもらいます。残りの10回は、イベント告知などで使います。

意見28：コラム執筆料金はそれぞれ1万円？

対応28：佐藤さん以外、源泉を引いて8,160円です。

意見29：4月例会チラシを参考資料に入れてください。

対応29：同一なので、その旨記載します。

● 第1回理事会	● 開催日	2020年	1月	22日	(水)	協議
----------	-------	-------	----	-----	-----	----

事前質問シートでの質問・意見・回答

意見1：背景は、自分自身の健康のことにさえ意識が低く、健康維持が習慣化できていない現状がありますがそう考えるのは何故だと思いますか。

対応1：背景の言い回しを変更しました。また、長岡市「[ながおかヘルシープラン2.1](#)」を参考に記載しています。運動習慣のある人の割合（1回30分以上、週2回以上、1年以上）は男性21.8%、女性14.5%。

意見2：実際の青年期・壮年期は健康が二の次三の次だと思います。青年会議所の活動自体が健康と真逆の活動であるという側面もあると思いますがいかがでしょうか。

対応2：意識の低い方に少しでも健康であることの価値を伝えるプロジェクトです。青年会議所の活動自体が健康と真逆である、というご認識に関してはそれぞれの参加の仕方によると思います。

意見3：長岡市の政策に対する背景に見えます。理事長所信に対して背景を考える必要があるのではないのでしょうか。

対応3：実施に至る背景ですので、この事業の元となる背景を書かせていただいています。理事長の所信も社会情勢や長岡市の現状を踏まえたものであるように、委員会事業計画もそのようにしています。それを踏まえて、背景を書かせていただいています。

意見4：なぜ一般参加者が2,000円でJCメンバーが3,000円なのですか。

対応4：この事業は多くの方に参加していただき、その方々が健康に向けて、運動習慣を身に付け、健康になっていただきたいと考えています。タニタの活動量計（万歩計）ですが、そのシステム料（参加料）が3,000円です。参加料を少ない事業費のなかから一部補助することで一般の方からの参加につなげたいと考えています。青年会議所のメンバーにおいてはこの事業の意義を伝える場面が（一般の方よりも）多いので、正規の参加料を設定させていただきました。一般の方は、メンバーのご友人や家族の方も想定しています。メンバーの大切な方々が参加しやすさも考え金額を設定しました。

意見5：4月例会と同様にターゲットに参加してもらうにはどうしたらいいのかご検討下さい。

対応5：協力していただいている機関の方にも参加していただくなど、草の根で参加促進を行いたいと考えています。

意見6：対外的に「社会実験を行い、その結果を、健康で長生きできるまちづくりにいかすこと」とありますが、社会実験の結果をどのようにいかすのか議案書から読み取れませんでした。実験の成果をどこかへ提言をしたり、8月例会や周年事業で活用するのでしょうか。

対応6：社会実験は長岡市の健康づくり事業を活用して行っています。社会実験を通して効果測定をして問題点や課題を見出すことで、市へ提言、政策立案につなげていただきたいと思います。

意見7：議案中に、社会保障費、社会医療費、社会削減費という言葉が使われていますが、整合性を保つためにも、それぞれ統一するか定義づけるかの記載内容の変更が必要かと思えます。

対応7：社会保障費に統一しました。

意見8：『壮年や若者世代の健康促進』が『社会保障費の減』となる根拠、因果関係を教えてください。又は、健康促進が進み長寿命化が進んだ場合、結果として社会保障費が増えない根拠でも結構です。※長寿命化が進むことで高齢者の人口自体が増え、社会保障費が増えるように感じたので質問です。

対応8：健康促進をし、メタボリックシンドローム予備軍を減らすことで将来的な医療費の削減につながります。詳しくは、厚生労働省から出ています「[医療費適正化基本方針の改正・医療費適正化計画について](#)」（P13～15）をご確認ください。また、当然長寿命が進んだ場合、結果として社会保障費は増える傾向にありますが、本議案とは別の議論が必要となりますので、ここでは差し控えます。

意見9：背景の「自分自身の健康の事にさえ意識が低く」とありますが、むしろ世間は健康志向が強くなっていると思います。

対応9：少し言い回しを変えました。ターゲットに設定した年齢層においては健康意識が他の年代より低いことは厚生労働省のデータで明らかになっています。また、この機会に青年会議所のメンバーにも健康志向を高めていただきたいと思います。

意見10：4月例会受付時に社会実験の受付も行うように読み取れますが、それではやりたい人だけが集まる例会になってしまうのではないですか。多くの方が参加しやすいようにしてください。

対応10：おっしゃる通りだと思います。プロジェクトへの参加は任意です。4月例会を聞いてプロジェクトに参加したいと思った方も参加していただけるように、受付を分けたいと思います。

意見11：メタボ回避100日プロジェクトの利用規約がHPを見ても見当たりません。新しい取り組みとして行うので

あれば利用規約を確認しておいた方がいいのではないのでしょうか。

対応11：タニタ健康クラブの利用規約に替えさせていただきたいと考えております。申し込みフォームにその旨を記させていただきます。

意見12：1日8000歩を歩く理由を教えてください。

対応12：1日8000歩を歩く理由の資料を添付しました。8000歩の[理由1](#)、[理由2](#)

意見13：社会医療費の削減費用とありますが、一般に公正妥当といえる数値にて数値化できるものなのでしょうか。

対応13：久野譜也教授のデータをもとに、社会保障費の削減費用を計算して報告します。

● 第1回臨時正副常任会議	● 開催日	2020年	1月	29日	(水)	協議
意見1：事業内容が同じであります但对外目的と対内目的が異なる理由を教えてください						
対応1：青年会議所メンバーには対外目的に加え、意義を伝え効果検証をしっかりと行うことで社会貢献につながる確かな手ごたえを得ることで長岡青年会議所のメンバーであることに誇りを持っていただきたいと思います。						
意見2：理事長所信と事業計画は添付しなくて大丈夫です。						
対応2：添付を削除しました。						
意見3：対象者に事務局員も含めますか。						
対応3：含めます。						
意見4：背景の2行目の主語は誰ですか。						
対応4：長岡市がやっている健康政策が主語になります。						
意見5：長岡市としては健康政策をどう考えていますか						
対応5：さまざまな政策を行っていますが、かけた予算に対してどうだったのか効果検証がしづらい分野であると考えています。実験的ではありますが効果検証をすることで、より良い政策立案に生かしていただきたいと思います。						
意見6：長岡市はどのような対応でしたか。						
対応6：実証実験は行政が苦手な分野なので、外部の団体と協働して事業を行うことに協力的でした。						
意見7：予算書について、3万円未満なので講師の方々は現金でお支払いお願いします。						
対応7：承知しました。振り込み金額を予算書から取りました。						
意見8：様式5の見積一覧に講師の方が書いてないので書いてください。						
対応8：記入しました。						
意見9：タニタカフェのハンコをもらってください。						
対応9：東京に送る必要あり 理事会が通り次第ハンコ押ししてもらいます。						
意見10：タニタカフェの活動量計は何人が参加していますか。						
対応10：はっきりした数字が今出せませんが、多くの方が登録していますがそのほとんどが高齢者です。事業を通じて20～40代に参加していただきたいと思えます。						
意見11：なぜ続けられないのかアンケートはとりますか。						
対応11：社会実験終了後にアンケートを実施します。						
意見12：資料上に事後アンケートがないのがないので添付してください。						
対応12：修正しました。						
意見13：今までの仕組みのままやっても習慣化は難しいのではないのでしょうか						
対応13：そう考えたので、コラムの配信や100日という短期集中型の事業にすることなど新しい取り組みを行っています。事業を通じて習慣化のきっかけを作りたいです。						
意見14：今、活動量計を持って動いてない人の意見も聞いてみてください。						
対応14：活動量計は1か月に一度活動量計リーダーにかざしてデータを吸い上げないと消えてしまいます。1か月に1度リーダーに掲げることをうっかり忘れてしまう、と言っていました。						
意見15：確認ですが、対外目的で健康の習慣化を促すこととありますが、長岡市にどうやったら習慣化できるかを提言するということでしょうか。						
対応15：習慣化を促すのは参加者本人の健康づくりのためです。市に提言するための効果検証は、「8、社会実験終了の報告」の部分にまとめました。						
意見16：目的の「将来の社会保障費の削減につながる社会実験を行い、その結果を」はいらぬのではないのでしょうか。						
対応16：修正しました。						
意見17：対内目的「自分自身が健康であることが社会貢献につながるという確かな手ごたえ得ること」の検証はどこでできるのでしょうか。						
対応17：「8、社会実験終了の報告」の部分で経済効果や医療費削減について検証します。また、事後アンケートでも伺います。						
意見18：利用規約はどこにありますか。						
対応18：チラシ裏面に利用規約を付けました。						
意見19：チラシのQRコードがまちがっています。						
対応19：添付し直しました。						
意見20：メンバーが一般参加者より1000円高い理由について納得のいく説明ができるようにしてください。						
対応20：この事業は多くの方に参加していただき、その方々が健康に向けて、運動習慣を身につけ、健康になっていただきたいと考えています。タニタの活動量計（万歩計）ですが、そのシステム料（参加料）が3,000円です。参加料						

を少ない事業費のなかから一部補助することで一般の方からの参加につなげたいと考えています。青年会議所のメンバーにおいてはこの事業の意義を伝える場が（一般の方よりも）多いので、正規の参加料を設定させていただきました。一般の方は、メンバーのご友人や家族の方も想定しています。メンバーの大切な方々が参加しやすさも考え金額を設定しました。

意見21：チラシの配布先 スポーツジムに配ってはどうでしょうか。

対応21：長岡市内の主要スポーツジム5店、ダイエープロビスフェニックスプールを追記しました。

意見22：イベント他のタイアップ打診企業なければ削除してはどうでしょうか。

対応22：修正しました。

意見23：5月のイベント等はやることで、習慣化するためのイベントとしてください。

対応23：対外・体内目的に合わせた内容に致します。

（再上程）

意見24：事後アンケート内、確実な健康推進政策につなげるための質問はどの部分ですか。

対応24：すべてのデータを政策に生かしていただきたいと考えますが、とくに活動量計の使い勝手については参考になると考えます。

意見25：一般市民がチラシ見たあと→申込→活動量計送った後のアクションがイメージできるようにしてください。

対応25：活動量計を渡すプロセスに追記しました。

意見26：後援を打診している企業は削除してください。

対応26：修正しました。

● 第1回臨時理事会	● 開催日	2020年	2月	5日	(水)	協議
------------	-------	-------	----	----	-----	----

[事前質問シートでの質問・意見・回答](#)

意見1：新潟県にも共催を依頼してもいいのではないかと。

対応1：新潟県には健康対策課があります。全県での取り組みではないので断られました。

意見2：参加推進方法のところのメンバー向け案内文が5、6、7月と入っていませんが、添付しなくてもよろしいのでしょうか。

対応2：5、6、7月の案内文は、長岡青年会議所の主催ではございません。メンバーへのメール配信は、常任・専務確認のうえご案内を配信させていただきます。

意見3：対内目的と対外目的の内容が全く違うのですが、手法は一緒なので、見直した方がいいと思います。

対応3：対外目的を「青年期、壮年期世代の健康増進・健康づくりへの知識を市民と共に得、習慣化を促すことを目的とします。」対内目的を「青年期、壮年期世代の健康増進・健康づくりへの知識を得、習慣化し、健康で長生きできるまちづくりにかすことを目的とします」と修正させていただきました。

意見4：背景は、一つに対して目的一つ。解決するための手法を記すと教えられてきたのですが、あえて二つ入っている理由を教えてください。

対応4：一対一で対応するように「長岡市において高齢者の割合は毎年確実に上昇しており、このことが社会保障費の増大に繋がっています。これから高齢者になる青年期・壮年期世代の人々の多くは、自分自身の健康に対し意識が低く、健康づくりが習慣化できていません。現状を改善する方策を長岡市が行っているにも関わらず、十分には活用できていないという現状があります。」と修正しました。

意見5：社会実験終了後の報告ですが、事業に対しての報告でしょうか。市に対しての報告でしょうか。説明して長岡市はどう活かすのでしょうか。

対応5：市に対しての報告です。なかなかデータが取れない青年・壮年世代を巻き込んでデータが取る機会になること、また活動量計という長岡独自のシステムを使うことで改善の機会を得ること、市とは違うほかの団体が効果検証することで市の政策に活かせることです。

意見6：20代～64歳までの幅広い世代のデータを取ることで、期待している効果検証ができるのでしょうか。

対応6：いま、活動量計を持っている方は65歳以上が大変多いです。その上で、データが取れていない青年・壮年世代をターゲットにさせていただいています。

意見7：青年・壮年世代が今回の活動で参加できるのは分かったのですが、来年どうしたらいいのかというところまで、持っていけるのでしょうか。

対応7：好循環を生むというところは私たちも意識させていただいております。どのような報告であれば効果検証として有効なのか、毎日歩くことを習慣化するためには、活動量計の使い勝手についてなど、現在市が行っている政策に対してどう生かしていけばいいのか事後アンケートで聞かせていただく予定でございます。提言する書類ができましたら審議していただきたいと思っておりますので、その際にご確認いただければと思います。

意見8：今回のようにメンバーとは関係ない個人の割引のために年会費が使われるのは納得しにくいです。

対応8：社会実験を行うために、多くの方に参加していただく必要があり委員会で話し合った結果、金額を設定させていただきました。3000円は活動量計のシステム料（登録料）ですが、その金額を安価にすることも一つの実験として行う価値があるとタニタカフェや市と協議させていただきました。

意見9：結果を報告とありますが、どのようなプロセスで行いますか。

対応9：事後アンケートを収集し提言します。

意見10：レ点チェックをつけるアンケートよりも、意見を書いていただくアンケートの方が吸い上げやすいと思いま

す。

対応10：今までの傾向をみると、自由回答で記載する人はほとんどいませんので、多くのデータを収集しやすいようにレ点チェックにしました。また、自由記載欄も設けております。

意見11：参加推進方法で市政だよりの掲載欄が300名になっているので200名にしてください。

対応11：市政だよりの掲載欄を修正しました。

意見12：社会実験の前に、一日8000歩を歩いているかどうか確かめる機会があってもいいのではないですか。

対応12：事前アンケートで対応します。

意見13：タニタカフェの体組成計で調べることができる項目はなんですか。

対応13：BMI値や体の筋肉のバランス、アスリート指数など体形について詳しく知ることができます。添付資料をご覧ください。[体組成計表](#)

意見14：JCメンバーは強制参加ですか。

対応14：任意での参加となります。分かりづらい書き方でしたので任意であるということより分かりやすく追記しました。

意見15：社会実験として、最低何人の参加で検証できるのでしょうか。

対応15：この度の実証実験は最低200人と設定させていただきます。人数が多ければ多い方が検証の数値としては正しい結果が得られると思いますが、予算の関係で一般参加者は200名、メンバーは129名、300名を上限とさせていただきます。

● 第2回正副常任理事会議	● 開催日	2020年	2月	12日	(水)	協議
---------------	-------	-------	----	-----	-----	----

意見1：社会実験の目的達成の為のプロセス(1)の目標設定と事業自体の背景・目的との関係性を教えてください。

対応1：事業自体の背景目的は、掲載のとおりで大きく変更はございません。社会実験の目的達成の為のプロセス(1)の目標設定は、参加者のモチベーション向上・維持のために設定していただくものです。

意見2：目標設定の評価方法については案になっています。

対応2：健康課さんと福祉総務課さんに検証していただくために、この状態で検討していただいています。

意見3：目標を達成したで賞という賞がありますが、それは目標達成者全員にポイントが配布される形ですか。

対応3：はい、できれば多くの方に目標達成していただきたいと思っています。

意見4：ポイントについてはタニタさんのOKをもらっているのでしょうか。

対応4：はい、一緒に検討しています。ハードルが低いか高いかはやってみないと分からないというところで、まずはやってみたいと思っています。

意見5：メンバー向けの発信についてですが、5月以降のイベントについては現在どういった状況ですか。

対応5：5月のイベントはタニタカフェさんと越後国営丘陵公園さんが連携して現在内容を詰めていただいています。6月は2月18日に「家族で守ろうパパの健康」実行委員会さんと初顔合わせ&会議の予定になっています。7月はヨネックスさんに打診をしていて相手から返答も頂いていますが、一度お会いしてお話をするというタイミングで先方が東京からわざわざこの打ち合わせのためだけに長岡に来るということで現在先方の日程調整待ちになっています。

意見6：外部の方のイベントであってこちらでコントロールできるものではないのではないのでしょうか。こちらで審議をしても開催時間や内容など直前になって変わることも考えられます。それを考えると案内文だけを審議するというのはとても難しいと思います。100日チャレンジに参加されるメンバーだけに詳細決まり次第告知するという方法でもいいのではないのでしょうか。

対応6：100日チャレンジに参加する方々にはもちろん参加していただきたいのですが、そのほかの青年会議所メンバーにも告知し参加していただきたいと思っています。こちらで主催はしない、という形を取らせていただいていますので、詳細決まり次第報告させていただく形でいかがでしょうか。

意見7：共催・後援を青年会議所がするのであれば正副で報告が必要ですが、3か月間におよぶ長期プロジェクトですので、随時常任と専務と相談しながらメンバーへメール配信など送っていただいていると思います。

対応7：前回理事会で答弁した内容と変わってきますので、質問を下さいました佐藤太洋理事にもその旨伝え、理事会の対応、事業全体スケジュールにも上記の対応を追記させていただきます。

意見8：一般参加者への告知はLINE@で行う予定ですか。

対応8：基本的にLINE@で告知するのと、あとはタニタカフェで告知を致します。あとは主宰する方の広報にゆだねる形を取りたいと思います。

意見9：あと、青年会議所のHPにも掲載していいと思います。

対応9：修正しました。

意見10：対外的に折衝しないといけない点とかあると思うので、フレキシブルに動いていかないといけないと考えています。折衝する中で内容の変更が出てくる、内容が変更になるなど、そういった課題が出てきたらその都度、常任や専務に相談してもらいながら進められるような組織を作っていくとけないと考えています。そういった意味で、いろいろと連携取りながら進めてください。

対応10：承知しました。変更の際は常任や専務と相談させていただきます。

● 第2回理事会議	● 開催日	2020年	2月	19日	(水)	協議
-----------	-------	-------	----	-----	-----	----

意見1: 市政だよりに値段は載せますか。

対応1: 広報課から健康課を通じて記載するように指示が出ています。ただ、理事会を通過しないと掲載できない認識ですので金額を掲載しない方向で先方へは依頼しています。

→理事会通過後に理事会が通過しなかったので金額が掲載できない旨を伝えたと、共催している以上、金額は必ず掲載してほしいと再度打診があり、専務・副理事長に相談し、理事全員に連絡する形で金額は「3,000円程度」と記載させていただきました。本来のルールに則ることができず大変申し訳ありません。

意見2: 背景をみると「長岡市が政策をやっているがうまくいっていないので長岡青年会議所として手伝わなければいけない」と読み取れますが、いかがですか。

対応2: 長岡市の政策を手伝うためではなく、社会課題の解決のため一つとして健康維持の習慣化を焦点に行う事業です。背景・目的を修正しました。

意見3: 政策が市民に届いていないという背景と手法がどういふふうリンクしてきますか。

対応3: 本事業で使用するタニタカフェの活動量計は、長岡市の政策として健康維持の習慣化を促すために活用しているツールです。その部分が分かりにくいので、背景・目的を修正しました。

意見4: 1,000円値引きして人を集めたら社会実験にならないのではないのでしょうか。

対応4: 多くの青年期・壮年期の健康維持の習慣化が本事業の目的です。今回の社会実験では、習慣化に導くための手法としてタニタカフェの活動量計の登録料を1,000円補助することを委員会として審査して選びました。詳しくは、参考資料をご確認ください。参考資料: [一般参加者へ1,000円補助する理由](#)

意見5: 結果を検証するのであれば基準を設けてください。

対応5: 報告書を作成するにあたり基準を設けるべき箇所は設けたいと思います。常時行っている健康課・福祉総務課との打ち合わせの中で協議致します。

意見6: タニタ健康クラブの活動量計を活用したいというところ(手法)から目的を決めていないか。

対応6: 多くの青年期・壮年期の健康維持の習慣化が本事業の目的です。今回の社会実験では、習慣化に導くための手法としてタニタカフェの活動量計を使用することを委員会として審査して選びました。詳しくは、一般参加者の登録料を1000円補助する理由をご確認ください。参考資料: [活動量計を利用する理由](#)

意見7: 提言書は参加費2,000円にした場合でも出せますか。市への提言のスケジュールを教えてください。

対応7: 基本的に出せます。ただ当初、提言書を出したいと考えていましたが、理事会を経て背景・目的を見直しました。8月例会に発表し、9月にある65周年事業で報告をしたいと思います。

意見8: 背景・主語が長岡市ではおかしいのではないのでしょうか。

対応8: 背景・目的を見直しました。

意見9: 目的に習慣化を目指すところとあるが、どうなると習慣化を促せたと考えていますか。

対応9: 背景目的を修正しました。また、習慣化ができたかどうかではなく、促しに対してどうだったかというのが一つの視点になると考えます。事前アンケートと事後アンケートの比較、3か月間8,000歩歩いた参加者の数、個人目標達成者の数、体組成計での変化などいくつかの指標になる観点で総合的に効果検証したいと思います。

意見10: 事業が終わった後も定着したかはアンケートとるタイミングで変わってくるのでは。

対応10: 事業目的はあくまで習慣化を促すことです。定着したかどうかは、ながおかタニタクラブの活動量計をその後も利用したか、が一つの指標になると思います。(3,000円で登録することで1年間は継続してシステムが利用ができます。その後も返却する必要はありませんので、1年後システム料の更新を行わなくても継続して歩数などのチェックは行えます)

意見15: 背景 2段落目 長岡市→様々な団体に変更した方がよいのではないのでしょうか。

対応15: 背景を修正しました。

● 第3回正副常任理事会議	● 開催日	2020年	3月	11日	(水)	協議
---------------	-------	-------	----	-----	-----	----

意見1: 1000円の補助の理由で添付がありますが、端的に1000円を補助の理由を教えてください。

対応1: 本事業の目的達成における最大のポイントはできるだけ多くの人に参加してもらい、自身の身体を知り、健康づくりの習慣化のきっかけを作っていただくことです。目的達成のために、活動量計という同じツールを持ち、健康ポイントというインセンティブを発生させモチベーションを高めるという手法を選びました。多くの人に参加してもらう大きなハードルが、参加費の3000円です。そのハードルを下げ、参加しやすくしたいと考えました。

意見2: 1000円の補助以外で、目的達成に代替できることを検討しましたか。

対応2: いろいろ検討しましたが、1000円補助のほかに大きくは3つあります。まず、①テレビでのCMなど広報に力を入れること、②健康ポイントの還元、③活動量計のリーダライタ(歩数を読み込む装置)を多くの場所に設置すること。その中で、参加することのハードルを下げる多くの方に参加していただくために、委員会で揉んだところ1000円補助がベストではなかと決断しました。

意見3: もともと3000円を知らない人にとっては高く感じるのでは、告知に工夫してください

対応3: チラシなど参加費が安くなっている旨を記載していますが、そのほか口頭で誘う場合などでも工夫していきます。

意見4: 2000円にして参加促進ができたかどうか検証してほしい。通常より安いから来たのかどうかなどの項目を入れてアンケートをとってください。

対応4: 事前アンケートに「参加のキッカケ」の項目を入れました。

意見5: チラシの変更点はどの部分ですか。

対応5: タイトル下のリード文を変更しています。どのような企画なのかをわかりやすく、商品券などに替えられるポイントがもらえるというお得感を出しています。もう1点は問い合わせ時間の表記を追加しました。

意見6: 委員会の携帯は追加しないのでしょうか。

対応6:問い合わせをしたとき、つながらない、出ない、というのが一番失礼です。委員会の携帯だとその恐れがあるので、事務局を問い合わせ先にしました。また、よくある質問のQ&Aを作成し事務局員さんに対応してもらいます。

意見7:3月の市政だよりに乗りましたが、申込はありましたか。

対応7:まだ申込期間でないので、きていません。

意見8:市政だよりに載せたときに、ばたばたしながら掲載したことがあったので、対応をしっかりとしてください。

対応8:以後そうさせていただきます。

意見9:理事会のときに委員会の総意と言われても、それがベストかどうかはわからないので、答弁に気を付けてください。特に、長岡市とタニタカフェの関係性について説明できるようにしてください。

対応9:長岡市とは共催で、タニタカフェは後援でついていただく予定です。

意見10:申し込みフォームの11番について、講演会は参加しないで、100日だけ参加すると、その逆もあるので書いた方がいいのではなでしょうか。

対応10:シミュレーションをし、申し込みする方が迷わないよう修正します。

議案上程スケジュール

事業計画 ・ 予算				事業報告 ・ 決算			
回数	諸会議名	開催日時	議事	回数	諸会議名	開催日時	議事
第3回	財政審査会議	2019年12月10日	審査				
第10回	正副常任会議	2019年12月18日	協議				
第4回	委員会	2020年1月5日	協議				
第4回	財政審査会議	2020年1月9日	審査				
第1回	正副常任会議	2020年1月15日	協議				
第1回	理事会	2020年1月22日	協議				
第1回	臨時正副常任会議	2020年1月29日	協議				
第5回	委員会	2020年2月3日	協議				
第1回	臨時理事会	2020年2月5日	協議				
第2回	正副常任会議	2020年2月12日	協議				
第2回	理事会	2020年2月19日	協議				
第6回	委員会	2020年3月3日	協議				
第3回	正副常任会議	2020年3月11日	協議				
第3回	理事会	2020年3月18日	協議				